



2022年9月5日

各位

会社名 株式会社マクロミル
代表者名 代表執行役社長 グローバル CEO
佐々木 徹
(コード番号: 3978 東証プライム)
問合わせ先 執行役 グローバル CFO
橋元 伸太郎
(TEL 03-6716-0706)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせします。

記

1. 評価の方法

全ての取締役に対し、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明の上、質問票を配布し、全員から回答を得ました。そのうえで、取締役会事務局による当該回答の集計・分析を踏まえ、取締役会における討議を通じ、当社取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしました。

なお、評価を実施した大項目は以下の通りです。

- ① 取締役会の役割・機能
- ② 取締役会の構成・規模
- ③ 取締役会の運営
- ④ 経営陣とのコミュニケーション
- ⑤ 株主・投資家との関係

2. 評価結果の概要

当社取締役会は、評価を実施した上記の各項目において総じて高い評価となり、取締役会の実効性は十分に確保されているものと考えております。

- 「① 取締役会の役割・機能」としては、課題認識と対応策の実践について適切な取組みがなされていると評価された一方で、昨年度の実効性評価時の課題事項であった後継者計画については、昨年度から継続して課題の解決に取り組んでまいりましたが、CEOや他の執行役などの経営陣の後継者育成計画についてより具体的な検討が必要であると再認識されました。また、「取締役会の機能を更に発揮するための施策の実施」に関し、各取締役はそれぞれ求められる高度な専門性を有していることに加え、コーポレートガバナンス・コードの改訂等を始めとする基本的な事項に関するトレーニングは十分になされており、これ以上の基本的なトレーニングを行う必要性は低く、今後は取締役が当社の事業をより深く理解し、決議事項の適正性についてより高度な議論を行うために有益となる情報の把握及び理解に関して、より充実したサポートを受けることが次の段階の課題として認識されました。
- 「② 取締役会の構成・規模」としては、社外取締役の割合やスキル等の多様性について、昨年度から継続して高い評価を得られております。
- 「③ 取締役会の運営」としては、重要議案や社外取締役からの依頼事項も適切に上程され活発に議論がされており開催頻度も含め適時に把握できる体制と評価される一方で、取締役会の出席者への資料共有のタイミングなど、事前検討のためにさらに十分な時間を確保することが課題として認識されました。
- 「④ 経営陣とのコミュニケーション」としては、社外取締役が自身の経験を十分に活かす適切な機会は十

分に提供されており、それぞれが議案に関する自らの専門性及び役割を認識した上で、適切な意見を会議体に提供し、議論に貢献していると評価される一方で、昨年度も改善意見が出ていた執行役及び執行役員と取締役間のコミュニケーションの機会の拡充について、更に取り組むべきことが課題として認識されました。

「⑤ 株主・投資家との関係」としては、株主からのフィードバックや質疑応答等について取締役会において報告がなされており、適切に把握できていると評価されました。

3. 評価結果を踏まえた今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ取締役会全体の実効性を更に高めていくために、特に以下の事項を含む課題への対応策を検討し、必要な対応策を実施することにより取締役会の機能向上に努めてまいります。

- ① 経営陣に関する後継者育成計画の具体的な検討の深化
- ② 取締役が当事業の理解を深めるためのサポート体制の強化、並びに取締役と業務執行サイドとのコミュニケーションの機会の拡充
- ③ 取締役会において充実した議論を実施するための事前の十分な検討時間の確保

以 上